

科目名	政策評価論（2クラス）	
担当者	塚本壽雄	
配当学期	秋学期	
単位	2単位	
授業概要	わが国における「制度」としての政策評価の現状を把握・分析し、改善の方向をさぐる。具体には、国の制度を中心に、政策評価の課題を主として制度の信頼性及び効用発揮という観点から論じる。その際、必要な範囲で評価手法の概要についても学ぶ。講義を中心とし、広く政治・行政システムの全般を視野に入れる。	
授業の到達目標	政策評価に関し、入門レベルの者についてはその理解の向上を、問題意識のある者については疑念の解消や思考の深化をもたらすこと。	
授業計画	<p>(1) イントロダクション</p> <p>(2) 政策評価の登場と展開（国を中心に）</p> <p>(3) 政策評価と政策というものの理解（参加型計画手法）</p> <p>(4) 参加型計画手法演習（政策づくりは政策評価の用意である）</p> <p>(5) 政策評価の基本（ロジックモデルと指標・評価基準）</p> <p>(6) 政策評価の代表的アプローチとかなどころ①：有効性の評価</p> <p>(7) 政策評価の代表的アプローチとかなどころ②：効率性の評価・達成度の評価</p> <p>(8) 評価アプローチのかなどころは押さえられているか（有効性の評価事例）</p> <p>(9) 評価アプローチのかなどころは押さえられているか（達成度の評価事例）</p> <p>(10) 政策評価のもたらす利益とその前提条件（信頼性と有用性）①：自己評価と確立された手続</p> <p>(11) 政策評価のもたらす利益とその前提条件（信頼性と有用性）②：評価結果の利用のあり方</p> <p>(12) 事業仕分けと政策評価（正統性と精緻性）</p> <p>(13) 政策評価と国民（公表・納得・参加）</p> <p>(14) 政策評価制度に関する所論</p> <p>(15) 政策評価制度の課題</p>	
教科書	なし。各回パワーポイント形式のレジュメ及び配布資料を用いる（いずれも事前掲示・受講生ダウンロード）。	
参考文献	授業において文献リストを配布する。	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	

	レポート 100%	期末レポート。相対評価を加味した絶対評価。
	平常点評価 %	
	その他 %	
関連 URL		
備考	<p>本科目は、自宅等で Course N@vi を使って、視聴受講できる（配信は1週遅れる）。</p> <p>本科目につき不明の点等があれば、遠慮なく塚本の授業用メールアドレス（eval@cls.waseda.jp）へ照会されたい。</p>	